

授業案内



平岡塾

授業案内

- 小6生から大学受験生まで募集しております。大学生や大人の方もいらっしゃいます。
- 入塾テストはございません。
- 小6生～中2生はJ1、中3生以上はS1を推奨いたします。
- 大学受験を控えている方はどなたでも大学入試特別対策クラスへお入りいただけます。

■ クラス

J1

- ◎ 3月新規開講
- ◎ 小6～中2対象



J2



J3

- 1年後にJ2、2年後にJ3へ進級します。体験見学のうえJ2、J3へのご編入も承ります。
- 文法に関しては全分野の1巡目の説明をJ1～J2の2年弱でおこないます。
- J3修了後はS1ないしM1へ進級します。

S1

- ◎ 4月新規開講
- ◎ 中3～高2対象



S2

- 1年後にS2へ進級します。体験見学のうえS2へのご編入も承ります。
- 文法に関しては全分野の1巡目の説明をS1の最初の9ヶ月でおこないます。
- S2は12月で閉講し、1月に大学入試特別対策クラスへ進級ないしM1へ編入します。

M1

J3からの進級クラス



M2

- 1年後にM2へ進級します。
- M2は12月で閉講し、1月に大学入試特別対策クラスへ進級します。

**大学入試
特別対策
クラス**

- ◎ 1月新規開講
- ◎ 大学受験生対象

- 前年の11月末に実施するクラス分けテストの結果に応じて習熟度別(6クラス前後)に分かれます。
- 開講期間は1月～12月となります。

■ 授業の流れ

- 授業は週1回3～4時間です。大学受験特別対策クラスは4.5～6時間です。
- 始業時刻 ■月～金 17:00 ■土昼 13:45 ■土夜 17:10 ■日朝 10:00 ■日昼 13:45
- 全クラスとも1回の授業の流れは概ね次のとおりです。

【ネイティブ・レッスン】

- 約 40 分間ございます。時間帯はクラスにより異なり、年長クラスほど後に回ります。



【宿題の答え合わせと解説】

- 宿題(読解・文法・英作)の英文はすべて音読いたします。
- 発表者が答えや和訳を導き出した過程をクラス全体で確認します。
- その際に「平岡文法プリント」に立ち返って基本の定着をはかります。



【文法の説明】

- 「平岡文法プリント」をそのつど配布し、各自でファイリングして「オリジナルの文法事典」を作ってゆきます。
- 文法全分野(一般に中高6年間で学ぶ範囲)の1巡目の説明をJ1の初回授業からJ2の12月に、同じくS1の初回授業から12月におこないます。

※この「文法全分野の1巡目の説明」=【文法の基礎説明】は平岡塾のカリキュラムで英語学習を進めてゆくうえでとても大切ですので、途中入塾などで抜けてしまう分野については季節講習の「文法解説Ⅰ・Ⅱ」を受講して補っていただくことを推奨しております。

- 文法全分野の学習はJ1～M2で計6巡、S1～S2で計3巡、内容を深めつつ反復してゆきます。大学入試特別対策クラスでさらに1～2巡いたします。



【お帰り】

- J1、J2、S1はその日の学習内容にかかわる簡単な暗唱や書き取りをおこないます。
- J3～M2は単語テスト、S2は小テストをおこないます。
- 大学受験特別対策クラスは単語テストのほか入試問題演習をおこないます。

■ 年間スケジュール

- 主なイベント

3月	J1開講／春期講習
4月	春期講習／S1開講
5月	GW 休暇／ダブル授業① S2、M2 習熟度診断テスト
7月	ダブル授業②／夏期講習
8月	夏期講習／夏季休暇

10月	ダブル授業③
11月	クラス分けテスト／ダブル授業④ J3、S1 習熟度診断テスト
12月	冬期講習／年末年始休暇
1月	冬期講習／大学受験特別対策クラス開講
2月	ダブル授業⑤

- 年間の休暇 (各1週間)

▪ ゴールデンウィーク休暇 (4月末～) ▪ 夏季休暇 (8月中旬) ▪ 年末年始休暇 (12月末～)

- ダブル授業

年に5回、学校の定期試験の時期に合わせて2週連続で同一授業を行います。いずれか一方にご出席いただき、もう一方はご家庭で試験勉強にあててください。この制度を「ダブル授業」と言います。この期間中はネイティブ・レッスンはございません。具体的な日取りは、そのつど事前にお知らせいたします。

J 1 授業概要

- ネイティブ・レッスンでは、①発音記号表を用いた発音練習、②*Don Quixote*の読み合わせ及びその内容について5W1Hによる質疑応答、③英語特有のリズムや自然な会話表現を身につけるため *Small Talk* の合唱、④不規則変化動詞の発音を繰り返し行います。
- 初回の授業から【文法の基礎説明】(文法全分野の1巡目の説明)が始まり、J 2の12月で完了いたします。英語を使う上で必要な基本的な文法事項を網羅いたします。ネイティブ・スピーカーではない私たちにとりまして、英語を精確かつスムーズに「読む/聴く/書く/話す」力を下支えするのは文法力です。当塾オリジナルの系統的な文法学習法により、過度の負担を感じることなく効率的に身につけてまいります。
- 4月末から読解教材 *Don Quixote* を取り入れます。ストーリーは平易ですが、すでに関係詞、不定詞、分詞、過去完了なども使われております。宿題範囲は授業で時間をかけて予習いたします。文法は生きた文章のなかでこそよく身につきます。まずは文法的に精確に読むことを心がけます。

■ 主要テキスト

- ネイティブ・レッスン
 - ▶ *Oral Communication Lessons*
 - ▶ *Don Quixote* (retold 版)
- 文法・英作
 - ▶ 『基礎問題集 I』 『中 1 実力教室』
 - ▶ 『基礎問題集 II』 『中 2 実力教室』
- 読解
 - ▶ 原典講読 *Don Quixote* (retold 版)
 - ▶ 原典講読 *Around the World in 80 Days* (retold 版)

■ 文法学習の月別年間スケジュール

3	【文法の基礎説明】開始 肯定/否定/疑問/主語/動詞/補語/冠詞/選択 疑問文/疑問詞付疑問文/所有格/形容詞限定 用法/be 動詞/指示形容詞/人称代名詞
4	所有代名詞/人称代名詞表/疑問形容詞/これ までの復習/形容詞叙述用法
5	名詞の複数形/一般動詞 have/has
6	some/any/how many/一般動詞/3 単現/副詞 (句)/5W1H
7	冠詞/文型(第 1~3 文型)/there is 構文/here is

8	can/may/must/月/序数/時計/the days of the week
9	命令形/how~?のまとめ/現在進行形/前置詞
10	比較/感嘆文/8 品詞/文の要素/文型/接続詞/ 中 1 総復習
11	be+形容詞+前置詞/全否定と部分否定/be 動 詞の過去形
12	一般動詞の過去形/過去進行形/文型(第 4, 5 文型)/助動詞
1	未来/不定詞
2	動名詞/名詞/数量の表現/冠詞

※月の区切りは年により前後いたします。

J 2 授業概要

- ネイティブ・レッスンでは、①*Around the World in 80 Days* の内容について 5W1H による質疑応答、②英語特有のリズムや自然な会話表現を身につけるため *Small Talk* の合唱及び聴き取り練習、③ *Dialogs & Drills I* を用いて自然かつ文法に則った英会話の練習を繰り返し行います。
- J 1 から始まった【文法の基礎説明】(文法全分野の 1 巡目の説明)が J 2 の 12 月で完了いたします。以降は高校課程の内容となり、文法全分野の学習も 2 巡目に入ります。英語を精確かつスムーズに「読む/聴く/書く/話す」力を下支えするのは文法力です。文法テキスト『基礎英文法』を通じて土台をしっかりと築くとともに、点検と補修も怠りません。
- 『基礎英作 500 題』ではこれまでに学んだ文法の基礎を復習しながら、英作文の土台となる 500 の基本表現・構文を身につけます。
- 読解では J 1 から引き続きジュール・ヴェルヌの *Around the World in 80 Days* を精読いたします。仮定法、分詞構文、抽出話法、修辞疑問など文法的に精確に読み進めてまいります。つづく長文読解「高 1 訳シリーズ」では(一編 1、2 回で読み切り)、評論、物語、伝記、科学エッセイ等を取りあげ、英文の読み方の基本「書かれている語順のままに、意味のかたまりごとに読む」訓練をいたします。

■ 主要テキスト

- ネイティブ・レッスン
 - ▶ *Oral Communication Lessons*
 - ▶ *Dialogs & Drills I*
 - ▶ *Around the World in 80 Days* (retold 版)
- 文法・英作
 - ▶ 『基礎問題集Ⅱ』 『中 2 実力教室』
 - ▶ 『基礎問題集Ⅲ』 『中 3 実力教室』
 - ▶ 『基礎英文法』
 - ▶ 『基礎英作 500 題』
- 読解
 - ▶ 原典講読 *Around the World in 80 Days* (retold 版)
 - ▶ 長文読解「高 1 訳シリーズ」

■ 文法学習の月別年間スケジュール

3	不定代名詞/比較/it の用法/受動態
4	現在完了/接続詞
5	文型(文型の整理)/連結動詞/修飾語復習 /some/any/24 時制
6	関係代名詞/関係代名詞/関係副詞
7	助動詞/付加疑問文/間接疑問文/現在完了/ 不定詞
8	不定詞/分詞/動名詞

9	準動詞の復習/仮定法
10	比較/時制の一致/話法/話法
11	接続詞/分詞構文/接続詞/前置詞
12	文型 【文法の基礎説明】完了 不定詞/分詞/動名詞 [文法 2 巡目へ]
1	分詞/動名詞/副詞
2	副詞/接続詞/関係代名詞

※月の区切りは年により前後いたします。

J 3 授業概要

- ネイティブ・レッスンでは、①*Animal Farm* (オーウェル)の内容・文法・語彙に関する演習、②英語特有のリズムや自然な会話表現を身につけるため *Small Talk* の合唱及び聴き取り練習、③*Dialogs & Drills I*を用いて自然かつ文法に則った英会話の練習を繰り返し行います。
- 文法全分野の学習は3巡目、4巡目に入ります。テキストも中級、上級へとレベルアップいたします。言語は使い続けなければ忘れてしまいます。言語を正しく使うためのルールである文法も同様です。反復練習を続けてこれまでに習ってきた文法を確実に身につけてまいります。
- 英作は「NEW ART シリーズ」で正確な語法・文法に則った規範的な(折り目正しい)英語表現を身につけてまいります。
- 長文読解「高1・高2 訳シリーズ」(一編 1、2回で読み切り)では、ひきつづき英文の読み方の基本「書かれている語順のままに、意味のかたまりごとに読む」訓練と同時に、議論全体の趣旨を正確に掴めるようになるために「文脈を踏まえつつ読む」訓練をいたします。短文読解『平岡英文解釈』では文章の一文ずつ文型、品詞、要素などを解析して「文法的に正確に読む」訓練をいたします。
- J 3は新年度に M 1へ進級いたしますが、12月の<習熟度診断テスト>の結果に照らして基礎を見直したいという方には、S 1へ進まれることを推奨しております。

■ 主要テキスト

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ ネイティブ・レッスン <ul style="list-style-type: none"> ▶ <i>Oral Communication Lessons</i> ▶ <i>Dialogs & Drills I</i> ▶ <i>Animal Farm</i> (retold 版) ○ 文法 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 『基礎英文法』 ▶ 『精選英文法』 ▶ 『上級英文法』 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 英作 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「NEW ART I」 ▶ 「NEW ART II」 ○ 読解 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 長文読解「高1 訳シリーズ」 ▶ 長文読解「高2 訳シリーズ」 ▶ 短文読解『平岡英文解釈』 |
|--|---|

■ 文法学習の月別年間スケジュール

3	関係代名詞/関係副詞/前置詞
4	前置詞/態/比較
5	仮定法/話法/話法
6	文の要素/品詞/句と節/文の種類
7	文の種類/名詞/形容詞/冠詞/動詞
8	動詞/助動詞/時制
9	時制/準動詞/時制/助動詞

10	仮定法/冠詞/副詞
11	関係詞/接続詞/前置詞/比較
12	習熟度診断テスト
1	特殊構文/否定/一致
1	準動詞/動詞/助動詞
2	時制/法/態/名詞

※月の区切りは年により前後いたします。

S 1 授業概要

- ネイティブ・レッスンでは、①発音記号表を用いた発音練習、②英語特有のリズムや自然な会話表現を身につけるため *Small Talk* の合唱及び聴き取り練習、③*Dialogs & Drills I*を用いて自然かつ文法に則った英会話の練習、④不規則変化動詞の発音を繰り返し行います。
- 【文法の基礎説明】(文法全分野の1巡目の説明)を4月~12月の期間に行います。英語を使う上で必要な基本的な文法事項を網羅いたします。英語を精確かつスムーズに「読む/聴く/書く/話す」力を下支えするのは文法力です。当塾オリジナルの系統的な文法学習法により、過度の負担を感じることなく効率的に身につけてまいります。「中学時代をふくめて文法を一からやり直したい」「英語は苦手ではないけれどもどの分野の何が抜けているのかが分からない」など、文法学習に関する様々なご要望にお応えいたします。
- 英作では『基礎英作 500 題』で文法の基礎を見直しながら、英作文の土台となる 500 の基本表現・構文を習得します。つづく「NEW ART シリーズ」では正確な語法・文法に則った規範的な(折り目正しい)英語表現を身につけてまいります。
- 読解では長文読解「高1・高2 訳シリーズ」で英文の読み方の基本「書かれている語順のままに、意味のかたまりごとに読む」訓練をいたします。将来英文を「精確に速く大量に」読めるようになるためには是非身につけたい基本でございます。また秋から取り入れる短文読解『平岡英文解釈』では文章の一文ずつ文型、品詞、要素などを細かく解析して「文法的に精確に読む」訓練をいたします。

■ 主要テキスト

- ネイティブ・レッスン
 - ▶ *Oral Communication Lessons*
 - ▶ *Dialogs & Drills I*
- 文法
 - ▶ 『基礎英文法』
 - ▶ 『上級英文法』
- 英作
 - ▶ 『基礎英作 500 題』
 - ▶ 「NEW ART I」
 - ▶ 「NEW ART II」
- 読解
 - ▶ 長文読解「高1 訳シリーズ」
 - ▶ 長文読解「高2 訳シリーズ」
 - ▶ 短文読解『平岡英文解釈』

■ 文法学習の月別年間スケジュール

4	【文法の基礎説明】開始
	文の仕組み/不定詞
5	分詞/動名詞
6	副詞/接続詞
7	関係代名詞/関係副詞/前置詞
8	態/比較
9	仮定法/話法/文の要素

10	品詞/句と節/文の種類/名詞
11	形容詞/冠詞/動詞
	習熟度診断テスト
12	助動詞/時制
	【文法の基礎説明】完了
1	準動詞/動詞/助動詞/時制 [文法 2 巡目へ]
2	法/態/名詞/代名詞

※月の区切りは年により前後いたします。

S 2 授業概要

- ネイティブ・レッスンでは、①英語特有のリズムや自然な会話表現を身につけるため *Small Talk* の合唱及び聴き取り練習、② *Dialogs & Drills I~II* を用いて自然かつ文法に則った英会話の練習、③英語ニュースの聴き取り練習、④難度の高い不規則変化動詞の発音を繰り返し行います。
- 文法全分野の学習は2巡目から3巡目に入ります。文法の宿題では不定詞、関係詞などの分野別の問題とならんで、難度の高い分野横断的な「正誤・四択」問題が加わります。これまで気づいていなかった弱点を明らかにし、文法力を多角的に強化してまいります。
- 読解では長文読解「高3訳シリーズ」に入ります。「文法的に精確に読む」ことにくわえて、議論全体の趣旨を正しく掴むために「文脈を踏まえて読む」訓練もいたします。
- 英作文で見られる誤りの多くは「与えられた日本語をそのまますべて英語に移し変えようとする」ことから生じます。「まとめの基礎英作シリーズ」では、与えられた日本語をそのまま英語にするのではなく、英訳し易い日本語に言い換えること(paraphrase)、つまり英語と日本語の表現形式の違いを学び、より自然な英語表現を身につけます。
- 5月にS2とM2で共通の<習熟度診断テスト>がございます。
- 11月末の<クラス分けテスト>の成績に応じて、年明け1月に新規開講いたします「大学入試特別対策クラス」の所属クラスを指定させていただきます。

■ 主要テキスト

- ネイティブ・レッスン
 - ▶ *Oral Communication Lessons*
 - ▶ *Dialogs & Drills I*
 - ▶ *Dialogs & Drills II*
 - ▶ *News Listening*
- 文法
 - ▶ 『上級英文法』
 - ▶ 『英文法』
 - ▶ 『正誤・四択』
- 英作
 - ▶ 「NEW ART III」
 - ▶ 「まとめの基礎英作シリーズ」
- 読解
 - ▶ 長文読解「高2訳シリーズ」
 - ▶ 長文読解「高3訳シリーズ」

■ 文法学習の月別年間スケジュール

3	冠詞/形容詞/副詞
4	比較/前置詞/接続詞/関係詞
5	話法/文 習熟度診断テスト
6	文/特殊構文/不定詞/分詞
7	動名詞/仮定法/前置詞/接続詞

8	一致/話法/関係代名詞
9	関係副詞/形容詞/比較/冠詞/態
10	助動詞/品詞/要素/句と節/文の種類/名詞
11	代名詞/副詞/三基本時制 クラス分けテスト
12	完了時制/進行形/文の転換/特殊構文/句読法

※月の区切りは年により前後いたします。

M 1 授業概要

- ネイティブ・レッスンでは、①1984(オーウェル)の内容・文法・語彙に関する演習、②*Dialogs & Drills II*を用いて自然かつ文法に則った英会話の練習を繰り返し行います。
- 英語学習において最も大切なのは「音声」ですが、ともすると高学年では軽視されがちです。テキスト『発音・アクセント』では実際に声に出しつつ英語の音声上の特質を意識的に学び、「英語音の出入力」を強化してまいります。
- 文法の宿題はこれまで不定詞、関係詞など分野別の問題でしたが、M1の後半では分野が特定されていない文法・語法問題で文法力の総点検をはかります。分野別よりも難度は高く、真の文法力が問われます。これまで気づいていなかった弱点を明らかにし克服いたします。
- 英作文で見られる誤りの多くは「与えられた日本語をそのまますべて英語に移し変えようとする」ことから生じます。「まとめの基礎英作シリーズ」では、与えられた日本語をそのまま英語にするのではなく、英訳し易い日本語に言い換えること(paraphrase)、つまり英語と日本語の表現形式の違いを学び、より自然な英語表現を身につけます。
- 長文読解「高3訳シリーズ」では「文法的に精確に読む」ことはもちろんですが、議論全体の趣旨を正しく掴むために「文脈を踏まえて読む」訓練をいたします。つづく原典講読のデカルト *Discourse on the Method* (方法序説)は、これら「文法的に精確に読む」と「文脈を踏まえて読む」の双方が高いレベルで要求されます。

■ 主要テキスト

- ネイティブ・レッスン
 - ▶ *Dialogs & Drills II*
 - ▶ 1984 (retold 版)
- 音声
 - ▶ 『発音・アクセント』
- 文法
 - ▶ 『上級英文法』
 - ▶ 『英文法』
 - ▶ 『文法・語法 総点検』
- 英作
 - ▶ 「NEW ART III」
 - ▶ 「まとめの基礎英作シリーズ」
- 読解
 - ▶ 長文読解「高2訳シリーズ」
 - ▶ 長文読解「高3訳シリーズ」
 - ▶ 原典講読 デカルト *Discourse on the Method*

■ 文法学習の月別年間スケジュール

3	代名詞/冠詞/形容詞/副詞
4	比較/前置詞/接続詞/関係詞
5	話法/文/特殊構文
6	不定詞/分詞/動名詞
7	仮定法/前置詞/接続詞
8	一致/時制/話法/関係代名詞

9	関係副詞/形容詞/比較/態/助動詞
10	品詞/文の要素/句と節/文の種類/名詞
11	代名詞/副詞/活用と基本時制/完了時制
12	文の転換/特殊構文/句読法
1	【文法・語法の総点検】
2	【文法・語法の総点検】

※月の区切りは年により前後いたします。

M 2 授業概要

- ネイティブ・レッスンでは、①*Brave New World* (ハクスリー)の内容・文法・語彙に関する演習、② *Dialogs & Drills II*を用いて自然かつ文法に則った英会話の練習、③英語ニュースの聴き取り練習、④ 難度の高い不規則変化動詞の発音を繰り返し行います。
- M2では文法を知識として身につける段階を越えて、自由に運用できる段階を目指します。「自由に」とは「文法を気にせずに」ということですが、そのためには反復練習は欠かせません。『文法・語法 総点検』のあと再び分野別問題「Mシリーズ」で基礎固めをはかります。
- 英作文で見られる誤りの多くは「与えられた日本語をそのまますべて英語に移し変えようとする」ことから生じます。「まとめの基礎英作シリーズ」では、与えられた日本語をそのまま英語にするのではなく、英訳し易い日本語に言い換えること(paraphrase)、つまり英語と日本語の表現形式の違いを学び、より自然な英語表現を身につけます。
- 原典講読ではデカルトにつづき、ラッセルの *On Education* を取り上げます。比較的平易な語彙や構文を使い、明快ながら力強くも格調高い英文は、優れた読解用教材であると同時にそっくりそのまま英作文のお手本にもなります。M2では英文を読み解くのみならず、知性を磨き教養を深めていただきたく存じます。短文読解「上級英文解釈シリーズ」では精読の基本に立ち返ります。
- 5月にS2とM2で共通の<習熟度診断テスト>がごございます。
- 11月末の<クラス分けテスト>の成績に応じて、年明け1月に新規開講いたします「高3大学入試特別対策クラス」の所属クラスを指定させていただきます。

■ 主要テキスト

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ ネイティブ・レッスン <ul style="list-style-type: none"> ▶ <i>Dialogs & Drills II</i> ▶ <i>News Listening</i> ▶ <i>Brave New World</i> ○ 文法 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 『文法・語法 総点検』 ▶ 『正誤・四択』 ▶ 「Mシリーズ」 ○ 英作 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「まとめの基礎英作シリーズ」 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 読解 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 原典講読 デカルト <i>Discourse on the Method</i> ▶ 原典講読 ラッセル <i>On Education</i> ▶ 短文読解「上級英文解釈シリーズ」 ▶ 長文読解 The Russell-Einstein Manifesto
 サイド Thoughts about America
 ダール The Way Up To Heaven
 オーウェル Politics and the English Language
 ギデنز Globalization
 など |
|--|---|

■ 文法学習の月別年間スケジュール

3	【文法・語法の総点検】
4	【文法・語法の総点検】
5	【文法・語法の総点検】 習熟度診断テスト
6	【文法・語法の総点検】
7	準動詞/動詞

8	助動詞/時制/法
9	態/名詞/代名詞/冠詞
10	形容詞/副詞/比較
11	前置詞/接続詞/関係詞 クラス分けテスト
12	話法/文/特殊構文

※月の区切りは年により前後いたします。

大学入試特別対策クラス 授業概要

- 毎年、東大・京大・一橋・東工大など一流国立大、理Ⅲ・医科歯科・慶應医・千葉医など難関医学部、早慶上智などトップ私立大に非常に多くの方が合格を果たしております。
- 本クラスの1年間では、新しいことを順次習得することにも増して、これまで曖昧なままにしてきたことを確実に自分のものにすることが大切です。
- 毎回、文法・英作・読解・単語熟語の宿題がバランスよく出されますので、漫然と取り組むのではなく、宿題や予習を通じて「自分は何が解っていないのか」をまず明確にして次の授業に出席し、そこで弱点の解決を図ります。理解が不十分な点はそのままとせず、ぜひ担当講師にたくさん質問をして疑問点を解決して帰りましょう。これを徹底して1年間続けた場合の効果は計り知れません。
- そのなかで大学入試の過去問を大量に解きますので、入試に向けて各自がどの点を補強して伸ばすべきかがより一層明確になってまいります。
- そのほか、リスニング、スピーキング、エッセイ・ライティングについては、当塾在籍25年以上のネイティブ講師がしっかり指導(添削)いたします。もちろん、担当の日本人講師も個別に相談にのります。

◆ クラス分けテスト ◆

大学入試特別対策クラスでは、皆様の英語力に応じた指導をさせていただくため、基礎力を診断いたします<クラス分けテスト>を実施し、その結果に応じて所属クラスを指定させていただいております。大きくSAコースとSSコースの二つがあり、それぞれ3~4クラスに分かれます。

SA コース

- 文法は、英文の基本構造や準動詞(不定詞・分詞・動名詞)から始めて全文法を繰り返して学習いたします。英作文においても、英文読解においても、正しい読み書きを支える文法の基礎があってこそ、入試演習の積み重ねが着実に自分の力となるのです。常にその土台となる基礎を点検しながら、正誤問題、択一問題、整序問題など、さまざまな入試問題に取り組みます。
- 英作は、大学入試における自由英作文も難解な和文英訳も、基本となる一つひとつの英文が正確に書けるはじめてスタートラインに立つことができます。そのために基本構文500題を最初の2~3カ月で確実に身につけ、以後、自由英作文にも応用できる和文英訳をさらに1000題ほどこなします。
- 読解は、一般に長文演習ばかりに偏りがちですが、高度な内容把握のためにはやはり、一文一文に対する文法的に正確な理解が不可欠です。したがって、短文演習も長文演習も両方おこないます。短文では文構造を厳密に分析しながら精読します(毎回15~30問)。長文では文脈や全体の構成をつかむことに注力します(毎回B4プリント2枚くらい)。入試の読解は長文化しているだけでなく、ヒトゲノム、児童心理、ゲーム理論、テロリズム論、環境倫理、医療倫理などを題材に高度な内容を備えたものが少なくなく、しっかり文脈を踏まえながら正確に読むことが求められるからです。

- 単語・熟語の暗記も毎回、自習テスト形式で行います。
- ネイティブ講師による指導は毎回 45 分あります。さまざまな質問に対する返答を英語で即座にできるようにする会話形式の訓練に加え、リスニングのテストや、自由英作文の添削も繰り返し行います。
- ◆ 一年間の具体的なカリキュラムはクラス毎に担当講師が毎年更新し、初回授業でお知らせいたしております。

SS コース

- このコースは当塾の「クラス分けテスト」で抜群の成績をおさめた方のクラスです。多くの方が夏の時点で東大など一流校の合格レベルに到達しますので、大学入学後にハーバードなど海外の一流大学へ留学するために TOEFL8 割以上を目標にして励まれる方もいらっしゃいます。
- 文法は、分野別に Oxford や Longman などの問題を解いて各自の課題を体系的にチェックし、大学入試に要求される文法事項を早い段階で身につけます。さらに、ネイティブ・スピーカーではない私たちが誤りやすい文法・語法にも *Common Errors* の正誤問題で幅広く対応いたします。
- 英作は、和文英訳を毎回 15 問以上やっただいて、与えられた和文を英訳しやすい日本語に言い換え(パラフレーズ)、背景やニュアンスに合わせて構文・時制・単語を決めていくプロセスを学びます。また、最近の入試で多く出題されている、70~250 語を用いての自由英作文やエッセイ・ライティング等をネイティブ講師が基礎から指導いたします。
- 読解は、「訳文法」などの短文を年間で約 1000 題、長文はまず Bertrand Russell の原書 *On Culture and Politics* で深みのある英文に慣れていただき、さらに入試でよく採用される *Nature* や *Discover* の掲載論文、大学入試の過去問の超長文(1500 語前後)等を年間で約 50 本こなします。また、さまざまな長さの英文を日本語で要約する訓練もいたします。
- 単語・熟語の暗記も毎回、自習テスト形式で行います。
- ネイティブ講師による指導は毎回 45 分あります。さまざまな質問に対する返答を英語で即座にできるようにする会話形式の訓練に加え、リスニングのテストや、自由英作文の添削も繰り返し行います。
- ◆ 一年間の具体的なカリキュラムはクラス毎に担当講師が毎年更新し、初回授業でお知らせいたしております。

